

オスト メイト 災害時も安心に

神奈川・平塚市

ストーマ用装具 市内4施設で保管



丹藤氏と意見を交わす(左から)伊東、松崎の両市議

これで災害時も安心
——。神奈川県平塚市
は4月から、オストメイト(人工肛門・人工
ぼうこう保有者)のスト
ーマ用装具を、市内四つの福祉会館内で備蓄する取組
みを開始した。

公明党の松崎清子、伊東尚美の両市議はこのほど、その一つである平塚市福祉会館を訪ね、日本オストミー協会神奈川支部の丹藤順宏副支部長と意見を交わした。

ストーマ用装具は使用者によって形状などに個人差があるため、災害などの緊急時に自宅から持ち出せなかった場合の対応が課題だった。装具は個別に名前を表記した手提げ袋などに入れ、施設倉庫内のクリアケースに保管。プライバシーに配慮し、装具は指定の4施設のどこにでも預けることができる。

2009年、丹藤氏の相談を受けた松崎、伊東の両市議員は、市防災危機管理課や障がい福祉課に要望を重ねてきた。さらに、松崎議員は同年11月議会でも、公共施設でのストーマ用装具の保管を主張していた。

丹藤氏は「預けることで安心感が生まれる」と語っていた。